

体協

第 88 号 平成 23 年 4 月 15 日

いっしょ

発行：特定非営利活動法人 飯山市体育協会 / 〒389-2251 飯山市大字旭 4722 飯山市民体育館内 印刷：(有) 足立印刷所



夢と思いが、
詰まっている!

23年 1 月 10 日 戸狩スキー場
1 年～3 年 低学年スキー教室



小学生ミニジャンプ大会

スキークラブ

小泉 敦

去る1月30日、毎年恒例となりました小学生ミニジャンプ大会が長峰運動公園ミニジャンプ競技場にて開催されました。

今年も1年生から6年生までの男女15名が参加し、熱い闘いをくりひろげました。

当日は前日の夜からの積雪量が30センチ程あり、ミニジャンプ台の整備が難航したため、少々開始時刻を遅らせてのスタートとなりました。ミニジャンプ台の完成を待ちわびていた子供達は、整備終了の合図と共に一斉にスタート台へ駆け上がり、誰よりも先に飛んでやろうと意気込

んでいました。

試合前に何本か練習を行ない、いよいよ試合開始です。ミニジャンプ台は大小二種類設定されており、小さい台では1・2年生と女子の部、大きい台は3年以上の男子の部が開催されました。前回大会からの参加者がほとんどで、皆 ジャンプを飛ぶことにはすっかり慣れた様子。距離を伸ばそうと果敢に攻めております。しかし、幅の細いクロススカン

プスを取るのが至難の業で、皆スッテンコロリと転がっておりました。ところが、転んでも起き上がりてはすぐにスタート台に向って行きます。楽しくて痛みすら忘れてい

ようです。

試合は4年生のクラスが一番の激戦区、同点が何人もいて、決着がつくまで再飛躍し、順位を決定しました。

表彰式では学年ごとに10位まで表彰し、皆賞状とメダルを手にとめうれしそうでした。

この大会は、子供達が将来ジャンプ競技を始めるきっかけになればと、毎年開催しております。これをきっかけに子供達がジャンプ競技を始められれば幸いですし、またミニジャンプ競技がメジャーになり、オリンピック正式種目として採用されるよう、地道な努力を続けていきたいと思えます。機会がありましたら是非観戦してください。

県小クロスカントリースキー選手権大会

スキークラブ

服部 正秋

シーズンの中で一番大きなレース。第二十九回長野県小学生クロスカントリースキー選手権大会が、今年も私たちのホームグラウンド、長峰運動公園で行われました。約400名のちびっこクロスカントリースキーヤーが全身をおもいきり動かしスキーを滑らせていました。私は、小学校のコーチとしてこの大会に、参加させていただきました。朝、どこの小学校にも負けないよ

うな大きな声で、体操、円陣をくんで大きな声を出しました。上級生が低学年をまとめ、見本となるように体操や大きな声を出す。低学年は上級生の姿を見よう見まねでがむしゃらに大きな声を出す。そんな姿を見ていると、私たちも「よし！やるぞ！」と気の引き締まる思いにさせられます。子供たちがスタートに行く前、私たちに、「行ってきます！」と、笑っているような、緊張しているような何とも言えない表情でスタートに向かう子供たち。



選手宣誓をする小6年の栗岩照美さん、泉岸田早苗さん、小田山さん、小泉さん

「ありがとうございました。」と、笑顔で、時には泣きながら帰ってくる子供たち。レースはたった数分で終わってしまいます。しかし、そこで全力を出し切り、子供たちはその中で様々なことを感じてき

スキークラブ

高橋 直人

平成二十三年一月三十日(日)に飯山市内戸野温泉スキー場にて、開催されました。

今シーズン、雪不足が心配されましたがスキー伝来100年を祝うような降雪、積雪量のおかげで伝統の飯山市民スキー大会が盛大に開催されました。今シーズンは、昨年までのコースを変更し、県大会で使用した、ツルブリッケンコースを使用しました。急斜面と緩斜面が半々のコースで、急斜面のコースマネージメントや緩斜面での滑らし方が勝敗を分ける大会となりました。

2011飯山市民マルソン大会



大会参加者は、100名近く、年々増加傾向にあります。また、幼年組(未就学児)では、往年のスキー選手がお孫さんを引率してコースの下見(インスペクション)をしたりスタート前の準備したりと、家族が一つになって、子供達のために心温まる姿や無事にゴールできるか不安の表情で見ている姿は、緑の下で頑張る運営スタッフの力となりました。

まず、午後のリレー競技も、白熱しました。代表に選ばれた4人ももちろんですが、その4人が滑る姿をチームメイト・親・仲間が目を見開き大声で追いかける。リレーは4人だけが滑るだけの競技ではないことを教えてもらいます。

この日のために、真剣になって練習をしてきたからこそ本気になれる。共に汗を流してきた仲間だからこそ本気になって応援し讃えあえる。クロカンを通して、みんなが本気になれた、一つになれたと感じた1日でした。本気になれることがあるって素敵なことです。

た。

柔道教室

「鏡開き」開催

柔道連盟
坪井 清仁

新しい年が始まり、柔道教室の練習も気持ちを新たに始まります。毎年1月の行事として「鏡開き」が開催されます。今年は、1月9日(日)に飯山市武道館柔道場において開催されました。当日は、体育協会の遠山会長、村上飯山警察署長、宮本県議他、柔道関係者では県の理事や北信の事務局長がお祝いに出席していただきました。

鏡開き式では、来賓の方々からご挨拶をいただいたり、昨年の柔道教室出席の皆勤賞や精勤賞、努力賞の表彰が行われました。今年の表彰で、皆勤賞はありませんで

「弓道会」

弓道会
石田 真

弓道会では、日々練習に励んでいます。

武道として柔道や剣道などいろいろありますが、弓道に他の武道にない所があります。それは常に自分を相手にする事、自分に対する相手は動かない「的」ですが、これは自分自身に他ならないのです。弓道は、「正射必中」と云われています。正射とは正しい射術で規矩にかない、精神力の充実し

したが、精勤賞や努力賞が丸山柔道連盟会長より表彰されました。その後、練習で体を温めた後に2チームに分かれて紅白試合を行いました。日ごろ練習では見られない様な真剣な気合の入った試合が多数見られました。

保護者の方々にお餅を焼いていただいたり、お雑煮やお汁粉を作っていたいただき、試合後 みんなでおいしくいただきました。

この日は、東京の講道館でも「鏡開き」が開催されていて、全国の仲間と一緒にお祝いをしました。二年前には、講道館で行われた「鏡開き」に参加させていただきました。館長の挨拶の後、柔道の形7種目が披露された後、全日本指定選手が、小・中学生と乱捕りを行います。その後大道場一杯に並

た内志正しく外体直くなることで、これにより必中になります。

しかしこれがなかなか難しいのです。実際に弓を引いていると、正しくない射技でも中りますし、中りが続くとそれで出来たと勘違いをしてみたり、的に中る事だけに捕われたりします。いかにこの苦勞を乗り越え、精神力の充実、素直な心、射法射技の向上のための研修、礼に即した動作の修練、などの自己鍛練が重要な事がわかってきます。

しかし、今出来る正しき射を引いて、的に矢が中った時の喜び

びお汁粉とみかんが振舞われます。日本だけでなく世界中から参加者があります。

飯山柔道教室から世界で活躍できる選手が出ることを期待しながら、日々指導をしています。



飯山市体協

「剣道クラブ」

活動紹介

剣道クラブ
福沢 東

飯山市体協剣道クラブは、飯山剣道連盟と連携をとり、年間3回の大会の運営及び補助、年2回の級審査会の補助、各種大会・講習会への遠征、毎週火曜日の稽古会、また強化練習などにより青少年の健全育成はもちろんのこと、大人の健康増進、年代を超えてのコミュニケーションが取れるように活動を進めています。

毎週火曜日の稽古は、夕方7時30分から8時30分まで小中学生の練習、8時30分より大人も混じったの練習になり、9時30分には大



人の練習も終了になります。時間が非常に短いため内容の濃い練習にしようとかんばっておりますが、稽古に集中するあまりに、時間が押してしまい皆様に迷惑をかけてしまうことが多々あり、非常に反省すると同時にお詫びいたします。

1年間を通してこのような活動をしておりますが、各種講習会などの参加して、技術的な指導での改善は無いが、競技力を上げる方法は無いか、もつとよい時間帯は無いかなど、いつも考えながらクラブ活動をしています。

最後に、剣道を始めたい方、昔やっていた再開したい方、お子さんに剣道を進めたい方、火曜日の稽古開に取りあえずきてみて下さい。いつでもお待ちしております。



もまた大きいものです。

弓道場では、毎月第2金曜日夜8時から月例射会をやっています。そして4月29日には、第55回北信弓道大会が開催されます。高校、中学の学生を中心に600名ほど参加する大きな大会です。もしよろしかったら見学に来て下さい。そして5月には初級教室が始まりますので興味のある方はぜひ参加して下さい。

5月10日から毎週火曜日と土曜日の週2回、7月16日までの計20回、夜7時30分からです。

飯山市バドミントンクラブ

バドミントンクラブ

小嶋 由香

飯山市バドミントンクラブは市内外から集まる20人の部員と数名のビクター(部員ではないが時々練習に来る方)を迎えて、毎週火・金曜日の夜7時から、飯山小学校の体育館で練習しています。そして週末は日頃の練習の成果を試すため、県内及び県外の大会に積極的に参加し、新しい課題を持ち帰るなどして楽しんでいきます。

市内の高校に通うバド部の生徒も、「強くなりたい」という思いから練習に訪れることが多く、引退後も部員となってバドを続けている姿や、上達ぶりを伺えるのも楽しみの一つです。

また、県内のバド愛好家を対象に、クラブの枠を超えた交流をはかることを目的として、年4回の大会を開催していますが、近年は参加者が増え、人数制限しなければならぬほどの規模となりました。これはバド愛好家が増えていく証拠でもあり、とても喜ばしいことです。

みなさんも私たちと一緒にバド三味しませんか？



部員募集

●会費

年額5千円

(ビクター1回2百円)

【今年度の大会日程】

6月5日

第13回飯山社会人バド大会

8月7日

第10回飯山3複団体バド大会

9月11日

第9回飯山バド交流大会

11月6日

第34回飯山市民バド大会

卓球クラブ活動紹介

卓球クラブ

中村 誠直

クラブの紹介ということで依頼をうけましたので、ご報告させていただきます。

現在は城北中学校の生徒達が北信大会で活躍し、県大会に駒を進め、「北信越大会で常勝する日も近い」というところまで実力をつけています。

市内2校の中学校の生徒達は、とても熱心に取り組んでおり、卓球クラブとしてもさらなるスキルアップを目的に、1月からは通常の練習とは他に、毎週金曜日にも卓球教室を開催させていただいています。

教室には多数の中学生に参加していただいております。参加者の成長には目を見張るものがあります。

開催当初はボールがラケットに当たらなかつた子も、2ヶ月半経過した現在では、社会人を「おっ！」と思わせる返球ができるようになっており、「もう1球お願いします！」と笑顔で元気よくお願いされると、あまりの熱心さに心を打たれ、次の日の筋肉痛を省みず、全力でラケットを振ってしまおうコーチもチラホラと見られます。

「もっとうまくなりたい」という気持ちはどの子達も平等に持っています。北信越々全国大会に、



「努力」や「仲間とともに築いてきたもの」を後へ引き継ぎ、立派な指導者として育ってもらおう事も大きな財産だと考えています。

当クラブとしても、これからの活動の更なる充実、参加者の今以上のスキルアップができるよう、体制を整備してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いさせていただきます。ご報告させていただきます。

編集後記

この地で育った選手達が出場して戦ってくれる事を心待ちにしています。

しかし、熱心さとは裏腹に、近年では部員数が減少しているという寂しい状況が続いています。

数年前までは60名を超える参加者があり、台を置くスペースが確保できなかったのですが、今ではコート片面で間に合ってしまう。

日ごろから、公共の体育館を夜遅くまで使用させていただいているのは、送迎をしてくれている父兄の皆様、体育協会関係者の皆様など、数多くの方の並々ならない努力の賜物であり、頭が上がりませんが、この生徒達が今している

「千年に一度」といわれる大地震と大津波が自分たちの生きている時代に起ころうとは信じられません。このような惨劇の目撃者にならうとは大変辛く悲しいことです。

このたび、東日本大震災・長野県北部地震で被害を受けられた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興を心からお祈りしております。

